

**2019年 春学期**

# **社会科教材論 第3回**

**面白いネタ探しのグループワーク**

**「はてな？」を生み出す  
アイデアコンペティション**

# 【確認】この授業で大切にしたい視点

1. 教材作りを単なるテクニク的な問題と考えないこと
2. 「良い教材って何だろう？」という問いをめぐって、自分の心境・考えの変化について、向き合うこと
3. 完成品の教材の完成度よりも、「教材を作るプロセス」に注目・意識すること

# **【確認】この授業の最終的な目標**

- **全員の教材のデータが収録された冊子を作ります。**
- **編集作業などもしてもらいます。**



**授業やります**

# 今日の授業の目次

## ・自己紹介タイム

### 【授業】

1. 前回の感想の共有と問いづくり
2. グループの設定
3. アイデアコンペティション ラウンド1
4. アイデアコンペティション ラウンド2
5. 来週のグループ発表の準備打ち合わせ

振り返り・記録シートの記入時間

# 1. 前回の感想の共有と問いづくり

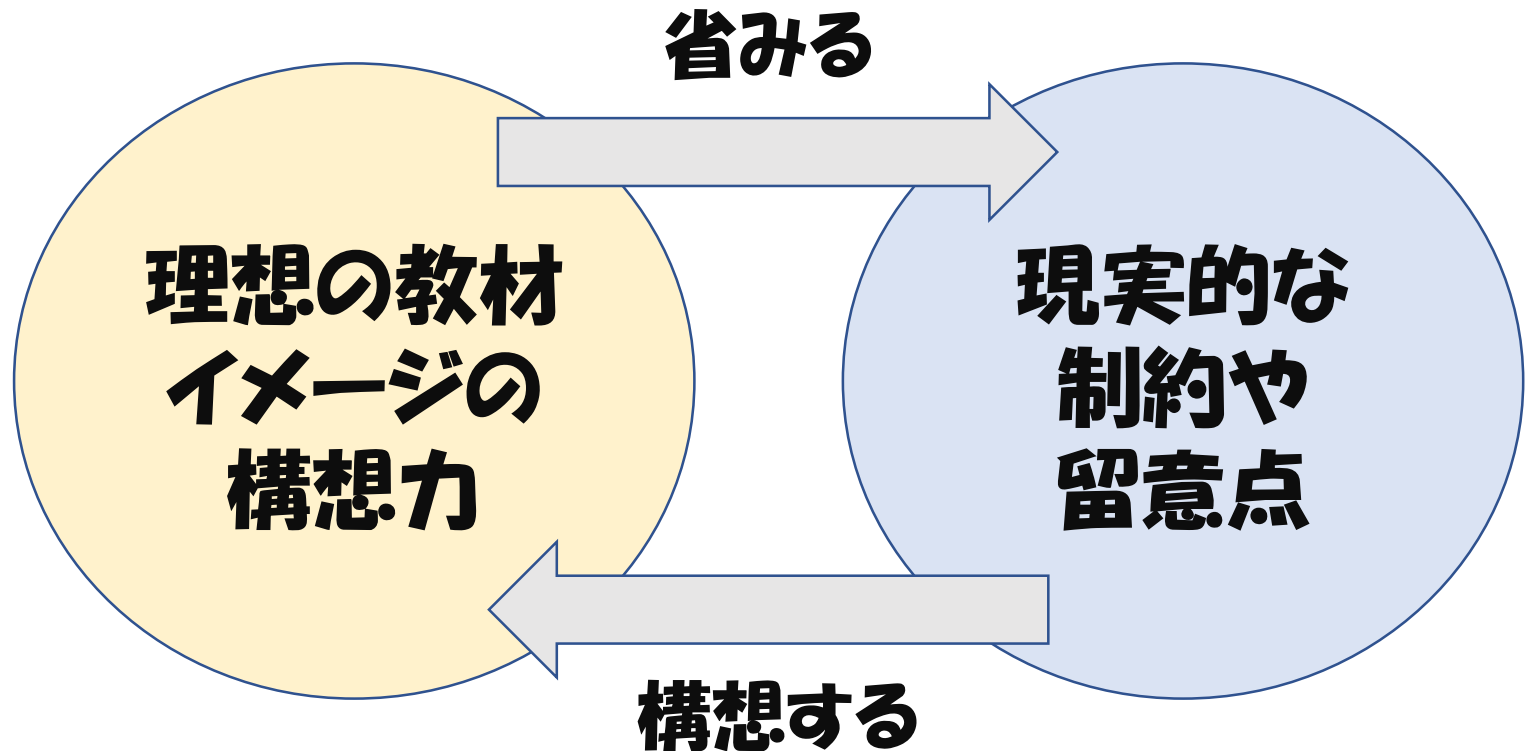
- 前回の感想の抜粋を一読し、ワークシートの指示通りに作業を進めてください。
- 皆さん自身が、有田実践の教材論・授業観に対して、「疑問を持つこと」が大切です。

**疑問を持つこと ≠ 相手を否定すること**

**疑問を持つこと = 自分の頭で考えること**

**疑問がわからないということ ≡ 考えていないということ**

# 理想と現実の間を往復する



両者の往復が必要で、  
いずれにしても前向きな議論が大切。

# グループの設定

(3~4名のグループを作ります。)



# この後の流れ①

## 【アイデアコンペティション ラウンド1】

1. お互いにアイデアについて発表をしてもらいます。  
(一人3分)
2. 互いに評価シートに評価とコメントを記入します。
3. 合計点数のランキング表をグループで記入・提出してもらいます。

## 【アイデアコンペティション ラウンド2】

1. 少しだけ個人の検討時間を設けます(5分)
2. ラウンド1の結果を踏まえて、追加の補足発表をしてもらいます。(2分)
3. 互いに評価シートに評価とコメントを記入します。
4. ランキングトップを決めます。  
(同率1位の場合は決戦投票をしてください)

## この後の流れ②

### 【来週のグループ発表の準備打ち合わせ】

- 来週は、グループ対抗でのアイデアのプレゼン大会をしてもらいます。
- 今日のグループでトップになったアイデアを加工・修正して、次回の発表に臨みます。
- 次回の発表では、グループ間での相互評価をした上で、ランキングを決めます。

# 【確認2】評価シートの視点

評価	文章表現力	ネタの面白さ	プロセスの記述	学習内容との接続
良い (3点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤字脱字・改行等のミスもなく、第三者が読んでも非常に読みやすい文章となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の固定観念や認識を予め想定し、自分のネタがその固定観念を覆すものであるということを詳しく説明出来ている。</li> <li>グラフ、写真などの何らかの挿入資料がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセスの記述の中から、自分自身が探究する楽しみを感じられていることが伝わってくる。</li> <li>実体験であることがわかるような、具体性や詳しさ、時間軸の説明があること。</li> <li>複数の資料やデータを読みこなしていることが、分かるような記述があること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネタが単なる導入の小話でなく、ネタを追究した先に、学習内容の結論があることを論じている。</li> </ul>
普通 (2点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤字脱字などのミスは無いが、洗練された文章ではない。</li> <li>誤字脱字・改行のミスがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネタの意図自体は分かるが、学習者の固定観念を覆すという意味において、やや工夫が少ない。</li> <li>グラフ、写真などの何らかの挿入資料がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセス自体は具体的だが、自分自身が探究する楽しみを感じているか不明確。</li> <li>調べる資料の数が限られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネタがどのような学習内容（中学校社会）を教えるものとして想定されているのか、その繋がりについて、明確に説明がなされている。</li> </ul>
良くない (1点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤字脱字や改行等のミスがある。</li> <li>資料のビジュアル面で難がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネタそのものの意図がやや不明瞭で分かりにくい。</li> <li>全体的に説明する工夫が足りていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセス自体の説明も不明瞭で、ネタ探しにそこまで時間をかけたように感じられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネタと学習内容の繋がり自体が、不明瞭である。</li> </ul>

# コンペティションとグループ発表で大切にしたい点

1. 発表の優劣を評価するのではなく、各々が自分自身にとって、「何が面白い(良い)教材なのか」の判断軸を探究  
するような意識で相互比較すること
2. 他者の発表に対する批判的友人であるようにすること

# 【参考】パフォーマンス課題の相互評価の取り組み

今回のような、  
ループブック表を用いた  
パフォーマンス評価の場合、  
生徒同士の相互評価も  
有効な方法として  
提唱されている。

(その他、複数名の教員や、地域  
関係者と評価をする場合もある。)

本の表紙  
(授業時のみ)

西岡加名恵編著(2016)  
『資質能力を育てるパ  
フォーマンス評価』

# アイデアコンペティション ラウンド1

1. お互いにアイデアについて発表をしてもらいます。  
(一人3分)
2. 互いに評価シートに評価とコメントを記入します。
3. 合計点数のランキング表をグループで記入・提出してもらいます。

# アイデアコンペティション ラウンド2

1. 少しだけ個人の検討時間を設けます(5分)
2. ラウンド1の結果を踏まえて、追加の補足発表をしてもらいます。(2分)
3. 互いに評価シートに評価とコメントを記入します。
4. ランキングトップを決めます。

(同率1位の場合は決戦投票をしてください)

# 来週のグループ発表の準備打ち合わせ

- 詳しくは別紙を参照してください。
- この時間内に、大まかな役割分担表の作成・提出をお願いします。
- 各グループには、次回の発表後に事後評価・報告をしてもらいます。



# 「振り返り・記録シート」の記入

この授業では、「自分の教材観から見える、授業観」を見つめることを重視します。

自分の考えの変化、違和感、モヤモヤ感を出来るだけ、言語化するようにしてください。

(後で、自分の授業観を振り返るための重要な記録になります。)

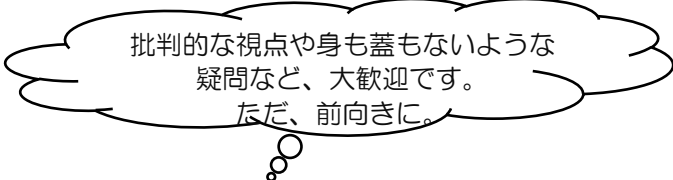
# 第3回 社会科教材論：面白いネタ探しのグループワーク ——「はてな？」を生み出すアイデアコンペティション——

氏名（ ） 所属学部・学科（ ）

## 1. 前回の感想(抜粋)の共有と問い作り

次の3つの作業を行ってください。

- (1) 前回の授業の感想を抜粋したものを以下に列挙しています。特に興味が湧いた感想に丸を付けながら一読してください。(肯定的な意見が多かったですが、あえて批判的な意見を多めに掲載しました。)
- (2) 感想を読んだ上で、「更に疑問が湧いた点」を「疑問を書く欄」に書いてください。(この欄には、あくまで感想ではなく、疑問文を書くこと)
- (3) グループで意見を交流し、「クラスメイトと意見共有をした際の新たな気づき・視点など」を書きこみます。他のメンバーに新たな気づき・視点を与えられるような、個性的な意見を期待します。



感想の抜粋	疑問を書く欄
<p>【肯定的な意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発問が全て、自分の中の知識を使って、ギリギリ導き出せそうなものばかりで、考えてると、分からなくなり、はてなが生まれる循環・・・。</li> <li>2. 想像よりも数多くの県から富士山が見えたりと子どもたちの常識を破った考えが答えになるから、「なんでなんで!!」となる子が増えると思いました。</li> <li>3. 発問一つ一つが簡単すぎず、難しすぎなくて、様々な意見がしやすいし、答えが曖昧だから生徒も発言しやすいと感じた。</li> <li>4. 自分の知識で、ギリギリ考えて答えられるので、本当はどうなのか疑問を持つことができる。</li> <li>5. 曖昧な知識と言うものは、普段は問いなおされることが無いものが多いと感じるので、それを題材にしているという点では疑問が浮かびやすいと思う。</li> <li>6. 子どもに伝えたい熱量が教材であること</li> <li>7. いきなり、「住みよい国土にするためには」と問われても分からないが、「冬に富士山はなぜ綺麗か」「日本の国土を浄化している者は何か」と小さい問題で答えやすい(大きい問いを考えるには小さな問いから)</li> </ol> <p>【批判的な意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8. 有田先生が考えた発問に対して、答えることができるのか、全員が全員、内容が理解できるのかなど、疑問に感じた。</li> <li>9. 知識や情報にクラス全体で個人差がうまれたときなどは大丈夫か？</li> <li>10. 子どもの動きを教材で予想ってことは、誘導授業というわけで、本当に生徒は考えているのかと疑問に思う。</li> <li>11. 問1～3の内容で答えを聞いて「なるほど」とは思う。ただ、そこで終わってしまう気がする。</li> <li>12. 積極的な子どもはおそらく疑問を抱くことになるが、生徒みんながそうなるとは限らないのでは。</li> <li>13. 富士山がどう見えるかというテーマだったけど、結局は何を学ばせたいのか、生徒にどうなってほしかったのかがよく分からなかった。</li> <li>14. 全部が全部、気候・公害のせいなのか？</li> <li>15. 富士山を教材にできるかどうかの確認や授業の導入として発問しているが、これについて全員が回答している訳ではないと思う。</li> <li>16. まずはある程度「目標」を定めておかなければ、授業計画を進めて行くこと</li> </ol>	

<p>は難しいのではないか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>17. 自分が経験したことに関連していることだから、それぞれの持っている武器で戦えるというか、全然関係ないこととして学ぶことを諦めてしまうことはなさそう。</li> <li>18. 教材について知っているとう効果はなさそう。</li> <li>19. 教師の自己満にならないか。</li> <li>20. 富士山と公害を無理やりくっつけている感じがある。</li> <li>21. 知らないことに興味もわくと思うけど、真剣にとりくむまではいかない。</li> <li>22. 教科書や資料集を用いるような、セオリーも大切にすべきではないか。</li> <li>23. 教師が感動したこと、発見した者が必ずしも子どもたちが知りたい、体験したいものではない。</li> <li>24. 教材の内容を知っていたら、あまり疑問がわからない。</li> <li>25. 1つの授業で学べる量が少ないのではないか。</li> <li>26. 子どもたちにぜひこれだけは追究させたいなどの強い熱意を持っている教師がどれだけいるか。</li> <li>27. 子どもにある程度、知識を教えておかないと、常識を覆せないのでは、有田先生の教材は長続きしないのでは。</li> <li>28. 子ども中心に見えるが、意外と自分中心？</li> <li>29. このやり方は、中学・高校でも通用するのか？</li> <li>30. 生徒が疑問を持ちすぎて授業が進まなくなる。</li> <li>31. 地域限定の授業なのでは？</li> <li>32. 授業の目標、目的に関して、主観性が非常に強くなってしまおう。</li> <li>33. 授業っぽくない。</li> <li>34. 知らないことに興味も枠と思うけど、真剣に取り組むまではいかない。</li> <li>35. パッと疑問がわからない場合もあるのではないか。</li> <li>36. 既製品の教材も役に立たないわけではないと思う。</li> </ol>	
--	--

**【クラスメイトと意見共有をした際の新たな気づき・視点など】**

## 2. グループ内の他の発表に関するメモ書き

1. (発表者名 _____ ) 第1ラウンド	2. (発表者名 _____ ) 第1ラウンド
第2ラウンド	第2ラウンド
3. (発表者名 _____ ) 第1ラウンド	4. (発表者名 _____ ) 第1ラウンド
第2ラウンド	第2ラウンド

## 社会科教材論の次回までの課題についての説明

### 1. 次回の発表の趣旨について

第3回の授業時のグループ内でランキング1位になった教材アイデアの良さが際立つような、4分間のプレゼンを作成・実施して欲しいと思います。プレゼンはグループ全員の参加が必要です。グループ発表は個人のアイデアではなく、全員のアイデアとして発表してください。そのため、グループのランキング1位の人のアイデアを生かしつつ、発表に向けて、改善・発展させる分には全く問題ありません。(アイデア自体が全く異なるものになるのはNGです)

### 2. 発表についての詳細

1. 何らかの提示資料を用意して、全員に見えるように提示して欲しいと思います。パワーポイントの使用も可です。一応、パソコンはこちらで用意します。(パワーポイントの使用は任意です)
2. 発表中に、カンペを絶対に見ないでください。(Ted-talkのようなイメージで。)
3. 聞く側の興味を惹くようなプレゼンの流れ・構成を考えてきてください。
4. 自分たちがしっかりと教材研究をしたことが伝わるようなプレゼンであることが望ましい(第3回の授業後の追加調査なども大歓迎です。)
5. 必ず、全員が話すようにしてください。
6. プレゼンは少なくとも3分半は続けてください。4分10秒で打ち切ります。

### 3. 発表の相互評価の際のルーブリック

以下のルーブリック表に基づき、お互いの発表を相互評価します。プレゼン準備の参考にしてください。

評価	パフォーマンス	協働性	ネタの面白さ	プロセスの説明	学習内容との接続
良い	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー全員が堂々と前を向いて話している。</li> <li>プレゼン資料に工夫が凝らされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの発表における役割分担が的確になされているように見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の固定観念や認識を予め想定し、自分のネタがその固定観念を覆すものであるということが詳しく説明出来ている。</li> <li>グラフ、写真などの何らかの挿入資料がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセスの記述の中から、自分自身が探究する楽しみを感じられていることが伝わってくる。</li> <li>実体験であることがわかるような、具体性や詳しさ、時間軸の説明がある。</li> <li>複数の資料やデータを読みこなしていることが、分かる記述がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネタが単なる導入の小話でなく、ネタを追究した先に、学習内容の結論があることを論じている。</li> </ul>
普通	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー全員が前を向いて話している。</li> <li>資料等の作成にもう工夫欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ全員が一応役割分担をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネタの意図自体は分かるが、学習者の固定観念を覆すという意味において、やや工夫が少ない。</li> <li>グラフ、写真などの何らかの挿入資料がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセス自体は具体的だが、自分自身が探究する楽しみを感じているか不明確。</li> <li>調べる資料の数が限られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネタがどのような学習内容(中学校社会)を教えるものとして想定されているのか、その繋がりについて、明確に説明がなされている。</li> </ul>
良くない	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバーの中で準備不足な人がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの役割分担がうまくいっていない場面があったように見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネタそのものの意図がやや不明瞭で分かりにくい。</li> <li>全体的に説明する工夫が足りていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロセス自体の説明も不明瞭で、ネタ探しにそこまで時間をかけたように感じられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネタと学習内容の繋がり自体が、不明瞭である。</li> </ul>

( ) さんのアイデアについての評価

※該当する欄に大きな丸を付ける。

合計点数は \_\_\_\_\_ 点

評価者 ( )

評価	文章表現力	ネタの面白さ	プロセスの記述	学習内容との接続
良い (3点)	<ul style="list-style-type: none"><li>誤字脱字・改行等のミスもなく、第三者が読んでも非常に読みやすい文章となっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>学習者の固定観念や認識を予め想定し、自分のネタがその固定観念を覆すものであるということを詳しく説明出来ている。</li><li>グラフ、写真などの何らかの挿入資料がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>プロセスの記述の中から、自分自身が探究する楽しみを感じられていることが伝わってくる。</li><li>実体験であることがわかるような、具体性や詳しさ、時間軸の説明があること。</li><li>複数の資料やデータを読みこなしていることが、分かるような記述があること</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネタが単なる導入の小話でなく、ネタを追究した先に、学習内容の結論があることを論じている。</li></ul>
普通 (2点)	<ul style="list-style-type: none"><li>誤字脱字などのミスは無いが、洗練された文章ではない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネタの意図自体は分かるが、学習者の固定観念を覆すという意味において、やや工夫が少ない。</li><li>グラフ、写真などの何らかの挿入資料がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>プロセス自体は具体的だが、自分自身が探究する楽しみを感じているか不明確。</li><li>調べる資料の数が限られている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネタがどのような学習内容（中学校社会）を教えるものとして想定されているのか、その繋がりについて、明確に説明がなされている。</li></ul>
良くない (1点)	<ul style="list-style-type: none"><li>誤字脱字や改行等のミスがある。</li><li>資料のビジュアル面で難がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネタそのものの意図がやや不明瞭で分かりにくい。</li><li>全体的に説明する工夫が足りていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>プロセス自体の説明も不明瞭で、ネタ探しにそこまで時間をかけたように感じられない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネタと学習内容の繋がり自体が、不明瞭である。</li></ul>
【コメント】				

( ) さんのアイデアについての評価

※該当する欄に大きな丸を付ける。

合計点数は \_\_\_\_\_ 点

評価者 ( )

評価	文章表現力	ネタの面白さ	プロセスの記述	学習内容との接続
良い (3点)	<ul style="list-style-type: none"><li>誤字脱字・改行等のミスもなく、第三者が読んでも非常に読みやすい文章となっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>学習者の固定観念や認識を予め想定し、自分のネタがその固定観念を覆すものであるということを詳しく説明出来ている。</li><li>グラフ、写真などの何らかの挿入資料がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>プロセスの記述の中から、自分自身が探究する楽しみを感じられていることが伝わってくる。</li><li>実体験であることがわかるような、具体性や詳しさ、時間軸の説明があること。</li><li>複数の資料やデータを読みこなしていることが、分かるような記述があること</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネタが単なる導入の小話でなく、ネタを追究した先に、学習内容の結論があることを論じている。</li></ul>
普通 (2点)	<ul style="list-style-type: none"><li>誤字脱字などのミスは無いが、洗練された文章ではない。</li><li>誤字脱字・改行のミスがない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネタの意図自体は分かるが、学習者の固定観念を覆すという意味において、やや工夫が少ない。</li><li>グラフ、写真などの何らかの挿入資料がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>プロセス自体は具体的だが、自分自身が探究する楽しみを感じているか不明確。</li><li>調べる資料の数が限られている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネタがどのような学習内容（中学校社会）を教えるものとして想定されているのか、その繋がりについて、明確に説明がなされている。</li></ul>
良くない (1点)	<ul style="list-style-type: none"><li>誤字脱字や改行等のミスがある。</li><li>資料のビジュアル面で難がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネタそのものの意図がやや不明瞭で分かりにくい。</li><li>全体的に説明する工夫が足りていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>プロセス自体の説明も不明瞭で、ネタ探しにそこまで時間をかけたように感じられない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ネタと学習内容の繋がり自体が、不明瞭である。</li></ul>
【コメント】				

## グループのメンバーの名前一覧

( )

## グループのランキング表(第1ラウンド)

<b>第1位</b>	名前( )	点数( )
<b>第2位</b>	名前( )	点数( )
<b>第3位</b>	名前( )	点数( )
<b>第4位</b>	名前( )	点数( )

## グループのランキング表(第2ラウンド)

<b>第1位</b>	名前( )	点数( )
<b>第2位</b>	名前( )	点数( )
<b>第3位</b>	名前( )	点数( )
<b>第4位</b>	名前( )	点数( )

**【最後に】第1位の人 アイデアのタイトルについて**

--

※完成したランキング表は前の黒板に貼ります。